

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規着工準備箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斎藤 親

事業名	J R 北陸本線等連続立体交差事業(富山駅付近)		事業区分	街路 (連続立体交差事業)	事業主体	富山県								
起終点	自：富山県富山市明輪町 至：富山県富山市曙町			延長	2 km									
事業概要	本事業は、J R 北陸本線、高山本線および富山地方鉄道本線の富山駅付近(2 km)を連続立体交差化し、交差道路における渋滞を解消し、道路交通の円滑化を図るものである。													
事業の目的、必要性	連続立体交差事業にあわせ、富山駅の駅前広場や都市計画道路等の都市基盤を整備し、渋滞の解消と事故の防止を図るとともに、周辺のまちづくりを進め、地域の活性化・一体化を図るものである。													
全体事業費	約390億円		計画交通量	9万台/日										
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年										
	1.6	344億円 事業費：344億円 維持管理費：0億円	555億円 走行時間短縮便益：537億円 走行費用減少便益：18億円 交通事故減少便益：0億円	平成15年										
感度分析の結果														
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される） 都市の再生（中心市街地内で行う事業である） 個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する） <p style="text-align: right;">他6項目に該当（定量的評価項目を含む）</p>													
関係する地方公共団体等の意見	富山県民新世紀計画（2001～2010）で富山駅周辺の南北一体的なまちづくりが、富山市総合計画新世紀プラン基本構想（2001～2015）で富山駅周辺の鉄道の高架化が位置付けられているとともに、富山県と富山市より本事業の早期実現の要望を受けている。													
事業概要図	<table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr><td>凡</td><td>例</td></tr> <tr><td>——</td><td>供用中</td></tr> <tr><td>■■■■</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>■</td><td>平成16年度新規着工準備</td></tr> </table>						凡	例	——	供用中	■■■■	事業中	■	平成16年度新規着工準備
凡	例													
——	供用中													
■■■■	事業中													
■	平成16年度新規着工準備													

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。